

さんにちだより

荒川区立第三日暮里小学校 12月号 発 行 日 令和4年12月1日 末永 寿官 発 行 者 校長

思いやりの たくましい子 考える子

三日小の学芸会~心に響く最高のストーリー・一人一人が輝く晴れ舞台~

校長 末永 寿宣

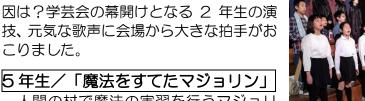
三日小の学芸会が11月19日(土)に本校体育館で行われました。どの学年も見ごたえのある 演目でした。ストーリーと子どもたちの一生懸命な姿に涙する保護者の方が大勢いらっしゃいまし た。子どもたちにとって、保護者の方々の激励が何よりの栄養です。あの時の感動をもう一度思い 起こしていただくために、今月号では、学年ごとの名場面を写真(リハーサルも含む)と共に演目 順にお届けいたします。ご家庭で振り返りにご活用下されば幸いです。

2年生/「はじめの言葉」「ゆめどろぼうウンパッパ」

「ねえねえ、見て見て!こー んなにたくさんのお客さんが いるよ!」から寸劇仕立てで 「はじめの言葉」がスタート しました。「あ、そろそろ準備 ができたみたいだよ!はじま り、はじまり~!」

ある町に夢どろぼうの親分 と子分があらわれ、町の人の 夢を盗もうとしますが、全く

夢を見ていないことが分かります。その原 因は?学芸会の幕開けとなる 2 年生の演 技、元気な歌声に会場から大きな拍手がお こりました。



人間の村で魔法の実習を行うマジョリ ンは、村人との出会いで、心に大きな変化 があらわれます。大道具や小道具、衣装も 自分たちで作りました。照明や道具の移動 など、裏方の仕事もこなしました。会場の 手拍子も演出に加え、大いに盛り上げてく れました。

3年生/「そんごくう」

天竺を目指す一行の前には、強くて悪い

敵が立ちはだかります。仲間と力を合わせて勇敢に戦うシーンは圧巻でした。3 年生全員が元気い っぱい歌い踊る姿に、会場から「おーすごい!」という言葉が聞こえてきました。





















1 年生/「おたまじゃくしの 101 ちゃん」

疲れ果てたお母さんを思いやるおたまじゃくしたちの姿が、観客の涙を誘いました。 最初から最後まで1年生らしい可愛い劇でした。

4 年生/「少年少女冒険隊」





仲間と力を合わせ「本当の宝物」を見つける子どもたちの迫真の演技に会場から惜しみない拍手が送られました。子どもたちの歌と踊りは見事でした。照明係など、目立たないところでも力を発揮しました。

6 年生/「夢から醒めた夢」「ゆうやけこやけ」「終わりの言葉」







生きることへの人間の葛藤を描いた名作に挑戦しました。小学校生活最後の学芸会にかける子どもたちの思いは、一人一人の表情からひしひしと伝わってきました。

衣装・音楽・舞台背景とすべて自 分たちで作りました。この仲間と一 緒に過ごせる日々をかみしめなが ら、心を一つにして演じる6年生の 姿に、会場からは惜しみない拍手と ともに、ハンカチで涙をぬぐう大人 の姿がありました。

終わりの言葉では、6年生代表の児童が、立派にスピーチをしてくれました。「一人一人が自分のもっている力を出し切り、学芸会を成功させることができた」と振り返るとともに、あたたかく見守り、励ましてくれた先生方、保護者の方、地域の方への感謝の気持ちも伝えました。

最後に「卒業に向け、三日小の仲間と過ごす残り少ない日々を大切にして、これからも前へ進んでいきたい」と、力強く決意していました。 これからも、三日小の子どもたちへご支援をお願いいたします。

